

自由社

自由社

自由社
N
きい
町屋佳子



自由社



キ
気まはせまに隣のエキ
に

着シ

親^のまは知^シつた人^{ヒト}に
会^アひいと

いけな、からこの近^{キン}所^{トモ}で

待^マていよま、わ私^{ワタシ}な子^コ

ちやんとほ^ヤふしくるから

ス、ちやあ待^マてるから粒^タむね

ク^のえ、大^{ダイ}丈^{ジョ}夫^ブよ、仕^シして

おせいし

東京
金屋
版劇

自由社

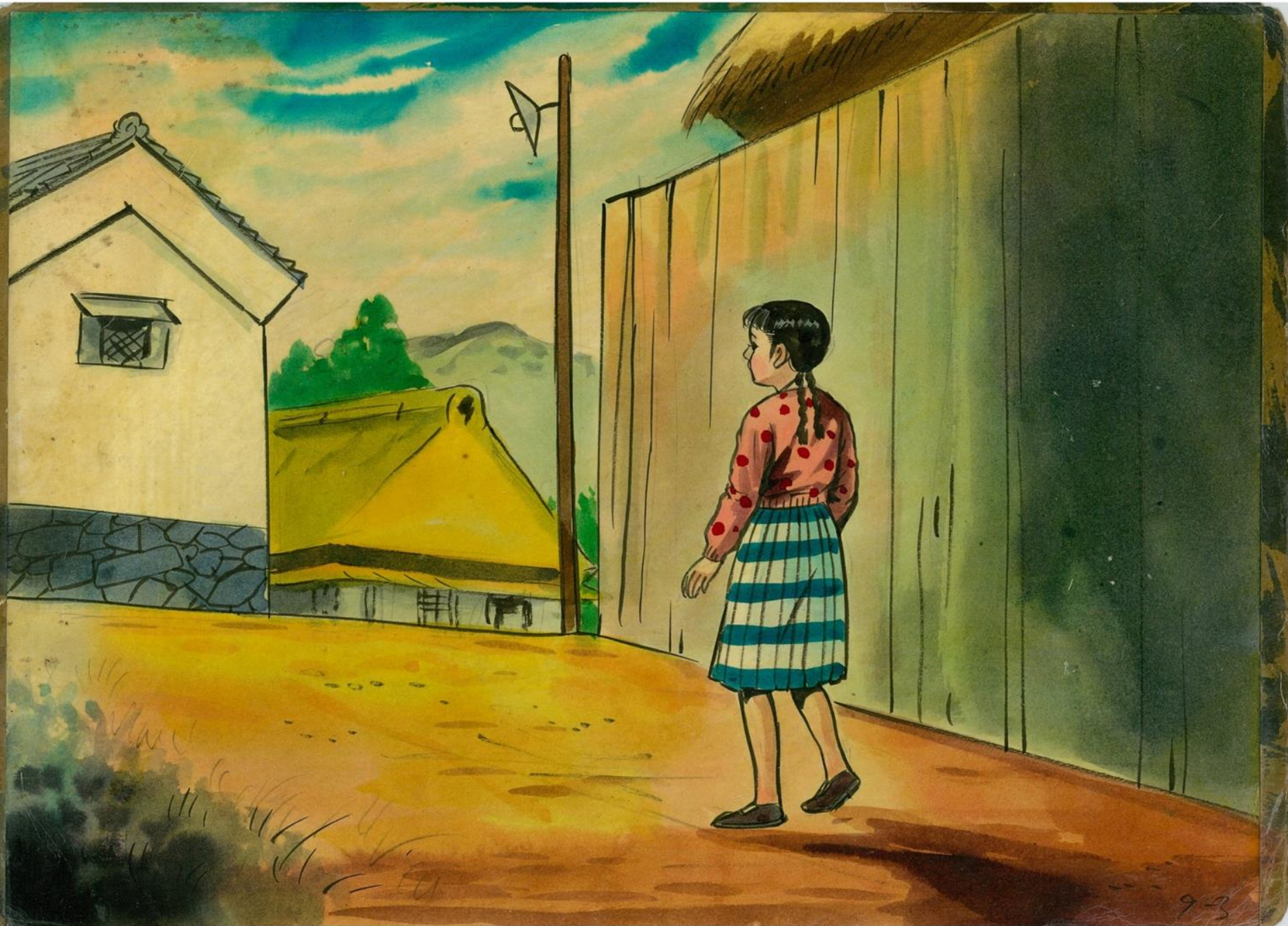
東京
金久保
識

東京都江戸川区鹿骨五丁目一丁目

永田為春

電話(三友)五九一一番

友子



茂シゲルと別ワカれたいは子コは目メ目メ目メ
 妻キ長ミチ道ミチをどドんンくク歩アルかえ
 行イった。今キはヨウは遊アソびにシっ
 てしまシうた。子コ供ドモ達タチの
 姿スガタは見ミえなナかカつた。
 困コマったな。どドこの家ウチか
 9-1 陣キかなカなナかカつたかカら
 ないわし

東画
 京版
 金星版

自由社
 金久保
 東京都荒川區野田三丁目四九〇

東京都江戸川区

永田春

電話(三三七)五九一一番

一五



貞

老行と一軒の雑誌やが

あまのこ 女のまは

あまのこ 松山がまのウチは

どいししようが

あ、松山がまならは

そにポストか見えろしよ

あ、ポストのわきをえ

三軒月の家よ

どうも有難う

金東京版

自由社

金久保藏

永田為春

電話(三九九)五九一一番



まのこ

あかツらノきコい
イ行イえシ見シたシがシ玄ゲのノ表ウのノどマかエ下ス
トたカがシまスそノイヨウウがスがガ
オモオいイなナがガらラ .

友トみモちチゃヤんン . びビーーなナいイ
トモモ . ちチゃヤんン . びビーーなナいイ
オモオいイなナがガらラ .

東画 自由社
金京版
金久保 識
東京都荒川區藤原三丁目四九

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七―五
永田為春
電話(三六九)五九一―番



ス子
友子

その家ウチの井マヒも通トオうすき

あたりを見廻ミマワすと

共同水キョウドウ道ドウがあれ

そいべー おあつアラを洗アラえ

ま 友トモ子コの姿スカタが見ミえた

9 ^{その子} あつ 友トモ子コちゃんだわ

よかるじ

東京版
金星版
自由社
金久保
東京荒川橋脚三丁目四九〇

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七十五
永田為春
電話(吳光)五九一一番



女^ツ子^ノは^コ女^ツと^バ側^バに

行^イえ

^{その子}
「な^{トモ}子^コちやん

と^ヨ呼^フんだ
振^{フリ}むいた

「な^{トモ}子^コは

「あ^{アイ}・この^ダ向^ネのお^ネ姉^ネさん

友^{トモ}子^コ

金東京
星京
版版劇

自由社

金久保
京光川野
版久保誠
東京都荒川野
二丁目四九〇

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七十五

永田為春

電話(三宅)五九一一番



友の子

「あんなにうらやましい、」

友子

「このおむつほしこしま(は)

友の子

「どうじゃ私(ワタシ)の側(エキ)で

待(マ)てる。お兄(イ)さんがまし

るよ」

友子

「えっ、兄(イ)ちゃんがい

~~「あんなにうらやましい、」~~

友の子

「え、だからごま(ま)るだけ

早く(ハヤ)またま(キ)い、家(ウチ)久(ヒト)には

黙(ダマ)して(る)よ」

東京版劇
金星版

自由社

金久保 識
東京新荒川橋 三丁目四九〇

東京都江戸川区鹿骨五丁目一五

永田 為春

電話(東京)五九一一番

友子
あんなにうらやましい



このまは 駅の方へ戻るまで

すまと茂が近づく

どうだ

うまくいってあ、用事を

すませこすく来る 村と

いそぎからくまあひ

有難う

すまとそまは

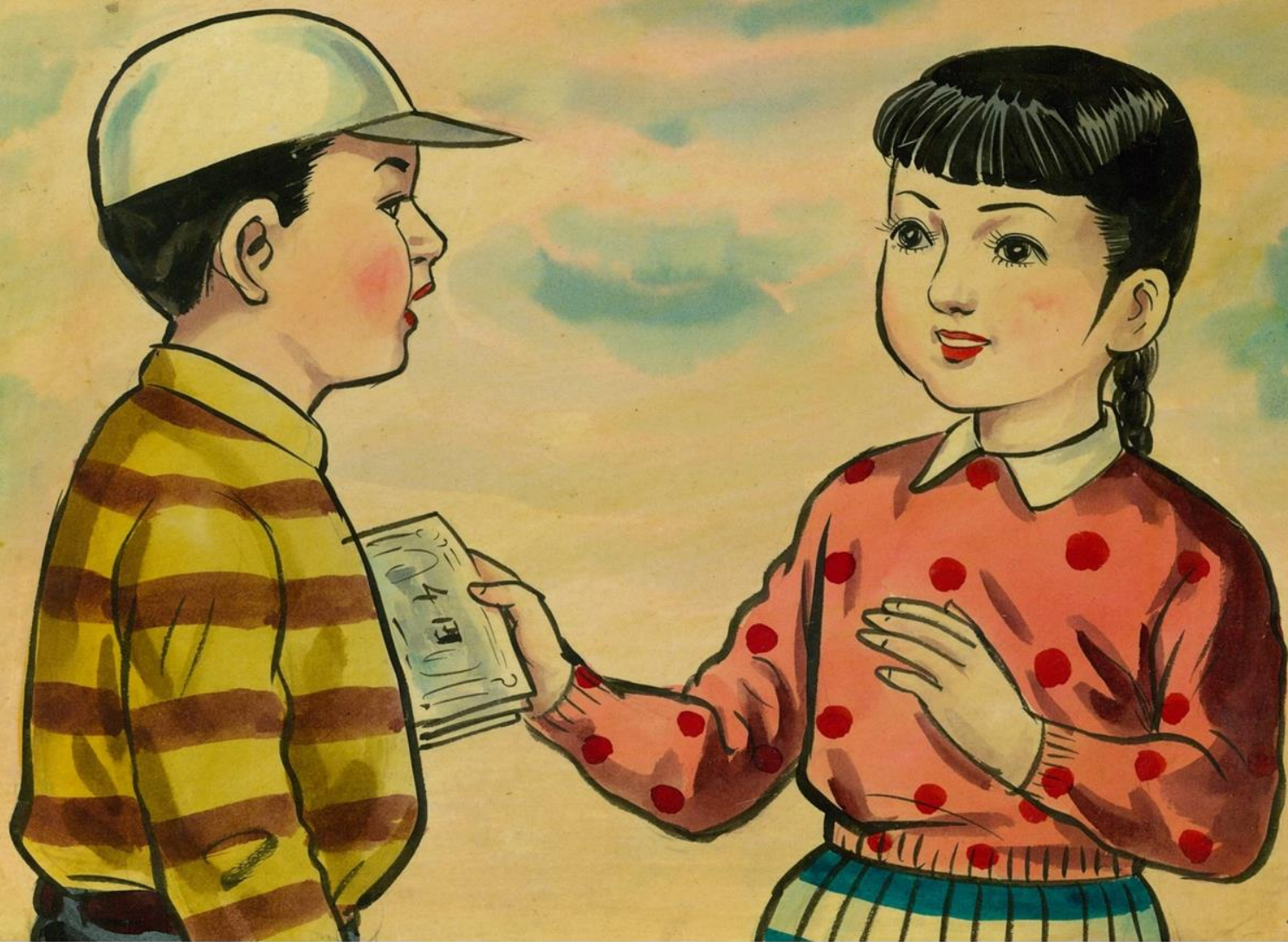
自由社

東京 荒川 新屋三丁目四九〇

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五

永田 為 春

電話(三九七)五九一一番



9-10

1. 茂シゲルさんなるちゅうか書キ長ナガら
 2. ずシヤ汽車キの集ノえ車クルマ券キヨウに
 3. 行イくおのよに社シャの貯チヨ金キン券サン4
 4. 円エンあるわ持モえいらいしや
 5. こもフル要ヨウいや
 6. 町マチいなる子コトいせえあひた
 7. お金カネなるんごようお金カネが
 8. ないコトと困コトるあよいから
 9. 持モえしまたまい
 10. すみませるちゅうあ借カり
 11. ます

東画
 京版
 自由社
 金久保誠

東京都江戸川区
 永田為春
 電話(五九一)五九一一番



9-11

「なまぢやうまたぢな。あつ

向^{ムコ}つ^{ホウ}の^{ムコ}からう^{ホウ}か^{ホウ}け^{ホウ}し^{ホウ}く^{ホウ}る^{ホウ}の

そ^{ムコ}う^{ホウ}ら^{ホウ}い^{ホウ}あ^{ホウ}

二^{フタリ}人^ニが^ニ目^ミ花^ハめ^メ。 寝^ネ前^{マエ}の^ノ道^{ミチ}

を^ヲな^ナる^ルら^ラい^イ。 女^メの^ノま^マが^ガ

二^ニ人^ニに^ニ向^ムえ^カけ^カし

タ^タく^タま^マ梁^カが^ガ見^ミえ^エた^タ。

二^{フタリ}人^ニは^ニ世^セの^ノ末^マに^ニ女^メの^ノま^マが^ガ

ご^ゴま^マる^ルこ^コう^ウが^ガ。

果^クし^クて^テ。

金東函
星京版
版版劇

自由社

東京新栄川橋町三丁目四九〇
東京都江戸川区鹿骨五丁目一七十五

永田為春
電話(美老)五九一一番

9—12

アリのよりに

第9巻終

東京
金星
版
自由
社
金久保
蔵
東京
都
荒
川
橋
本
三
丁
目
四
九
〇

東京都江戸川区鹿骨五丁目二十七番
永田為春
電話(芸文)五九一一番